

第43番 明石寺

●愛媛県西予市宇和町明石205
☎0894-62-0032
●宿坊／なし



第44番 大寶寺

●愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生2-1173-2
☎0892-21-0044
●宿坊／あり(要予約)



沿線の見どころ



臥龍山荘(がりゅうさんそう)

肱川随一の景勝地・臥龍淵を眼下に望む臥龍山荘は、明治の貿易商・河内寅次郎が造り上げた庵。臥龍院、知止庵、不老庵は見学可能。それぞれに数寄を凝らした匠の技が見られ、中でも不老庵は川面で反射する月光が天井を明るくする巧みな趣向が施されている。風光明媚な自然の景観を借景にした庭園も見事だ。

所 愛媛県大洲市大洲411-2
☎ 0893・24・3759
🕒 9:00～17:00(礼止16:30)
🍽 無休
💰 大人500円



沿線の見どころ



内子座

大正5年(1916)に建てられた木造2階建て、瓦葺き入母屋造りの芝居小屋。回り舞台や花道、拵席などを整えた本格的な造りで、歌舞伎独自の形式も見ごたえ十分。建築当時の姿を修復復原し、現在も内子座文楽や演劇などが開催されている。公演がない時は見学が可能で、数々の仕掛けが見られるほか、舞台に立ったり花道を歩いたりもできる。

所 愛媛県喜多郡内子町内子2102
☎ 0893・44・2840
🕒 9:00～16:30
🍽 12/29～1/2
💰 大人400円、小中学生200円



境内の見どころ



しあわせ観音像

仁王門の手前を右手奥へと進んだ小高い場所に、左手に水瓶を持ち、慈悲深いお顔ををした「しあわせ観音像」がある。この観音像は京都市在住の女性が寄進したもの。周囲には西国三十三所の石像を配しており、観音像まで歩いていくと、それらの石像を巡拝することができる。巡拝用のお札は納経所で受けられる。



厳かな境内には、緑に抱かれるように本堂や大師堂が並ぶ

第43番

源光山 明石寺 円手院

げんこうざん えんじゅいん めいせきじ

武士が帰依した源頼朝ゆかりの寺

歴史・全体像

欽明天皇(539～571)の勅願により、円手院正澄という行者が千手観音を安置し、七堂伽藍を建立して開基した。天平6年(734)に、寿元行者が紀州熊野より十二社権現を勧請し、12坊を建立して修験道場とした。その後、荒廃した伽藍を弘法大師が再興し、霊場に定めた。建久5年(1194)には源頼朝が命の恩人である池の禅尼の菩提を弔って、阿弥陀如来を安置。同時に経塚を築き、堂宇の修繕を手がけたという。その後、武士の信仰を集め、室町時代には西園寺氏の祈願所となり、寛文12年(1672)には、宇和島藩主・伊達宗利が堂宇を建立したと伝えられている。

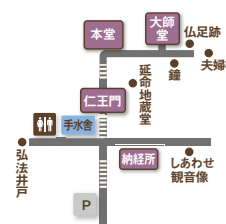
境内

杉や松の老樹をはじめ自然林が生い茂る境内は、霊験あらたかな雰囲気包まれている。石段を上ると、風格を漂わせる仁王門。門をくぐり、さらに石段を上った正面に唐破風造りの本堂がある。現在の本堂は明治時代に地元を中心とした信者の浄財によって建立されたもの。細工が美しく、めでたい絵柄を描いた天井絵が彩りを添えている。

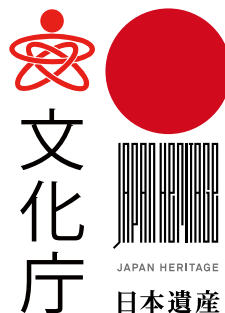
見どころは多く、大師堂のすぐそばには夫婦杉と呼ばれる杉の巨木がそびえている。また、仁王門の手前を左に行くと弘法大師の行場跡だと伝えられる弘法井戸、右に行くとしあわせ観音像がある。



風格のある本堂は彫刻等の細工が優美



御詠歌／きくならく千手ちかいのふし
ぎにはだいばんじゃくもろくあげいし
本尊／千手観世音菩薩
真言／おん ばざら たらま きりく そ
わか
宗派／天台寺門宗
開基／円手院正澄



日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に



